

令和5年度シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
設備計画	2単位	3	必修	設備工業科

1 科目の目標

設備計画に関する基礎的な知識や理論を習得させ、建築及び設備全般について学習する

2 教科書

設備計画（文部科学省）

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	設備計画に関する諸問題について関心を持ち、また、意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。	出席状況、学習態度（教科書ノート） 提出物
思考・判断	設備計画に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	ペーパーテスト （計算力、思考力）
技術・表現	設備計画に関する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	ペーパーテスト （表現力、思考力）
知識・理解	社会における設備計画の意義や役割を理解し、それに関する基礎的な知識を身につけている。	課題発表における表現力や文章力

4 評価の方法

各教科の評価は1, 2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価で出される。評価の規準としては、定期考査（中間考査・期末考査）、臨時考査（小テスト等）、提出物（ノート、課題プリント等）、日々の授業態度や出席状況をみます。

定期テスト60%	出席20%	態度・提出物20%
----------	-------	-----------

評価記載方法

- ・100点法
- ・5段階評価

評価内容	100点法	5段階評価
特に高い程度	100－80	5
上と中の中間	79－65	4
ほぼ達成	64－50	3
中と下の中間	49－35	2
特に不十分	34－0	1

5. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学期	4 5 6 7	26	第1章 設備の基礎 第2章 設備に関する建築構造	・ 自然環境・室内環境との関わり、熱及び流体の性質、また、建築物の計画・構造物の力学など設備工業との関わりについての知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 行動観察
	1学期の評価方法			定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	
2 学期	9	8	第2章 設備に関する建築構造	・ 建築や設備に関する材料や代表的な建築構造について学び、設備工業との関連性を捉え、課題を見だし解決できる。	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 行動観察
	10 11	16	第3章 建築物の設備計画	・ 給排水・給湯設備に関する基本計画など、設備工業との関わりについての知識を習得し理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	
	12	8	第4章 設備の施工	・ 施工管理の意義や施工及び工程管理、渉外手続きや施工関係者の役割などを含め、それぞれの知識を習得し活用できる。	
2学期の評価方法			定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。		
3 学期	1 2	12	5章 設備関係法規	・ 設備関係の法規体系を概念的に理解し、設備工業との関わりについての知識を習得し理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 行動観察
	3学期の評価方法			定期考査、勤怠状況で総合的に評価する。	